

夢追塾同窓会 3期 みよし会 令和元年 6月例会報告

テーマ： 悲鳴をあげている地球環境

～もっと、もっと、もったいないを習慣化しよう～

講師：金子良憲先生(北九州市男女共同参画審議会市民委員・北九州 ESD 個人会員)

日時：2019年6月4日(火) 18:30～20:30

場所：ウエル戸畑 7階会議室(大)

参加者：池田慶子、江崎芳子、樺沢敬視、小松良子、坂本博子、定平育子、貞光文江、田中眞弓
永吉和幸、宮尾節子、2期岡崎直実(プロジェクターをお借りしました) 11名

【講演内容】 近年の地球温暖化による異常気象…等に鑑みて、地球温暖化を防ぐには、自然エネルギーの活用が必要である。まず、CO₂の発生量を抑えて、CO₂の削減の努力が大切である。それには、個人でできることから、行動していくことが重要である。節電を心がけ(賢く電気を使い、楽しく節電) 食品ロスの削減(食べ物を無駄にしない) 普段の生活の中から節電を心がけ、意識することから行動に移し、実践していくことである。講師の金子先生は自ら、実践されている。

【特に重点的に説明の事項】

1. パリ協定(2015年12月採択)では、地球温度上昇を産業革命以降2°C以下に(好ましく1.5Cは以下)することを目標に掲げている。
2. しかし、ここ4～5年の温度上昇は急激で2030年には1.5Cを超えそうである。
3. そこで、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、昨年10月に地球温暖化特別報告書を公表し温暖化危機を、再び警告した。



日頃から取り組むべき課題を改めて感じ、熱心に聴講している出席者。



各人がもったいないを習慣化し、日頃の暮らしを見直す”きっかけ”となりそうだ。